

主題	「7ステップ」プログラムを用いた新人育成
副題	新人介護職員の初年度におけるケアスキル能力の推移について

ケアスキル評価	人材育成
---------	------

研究期間	12 ヶ月	事業所	みずべの苑（特別養護老人ホーム・通所介護）
------	-------	-----	-----------------------

発表者：梨本 貴子（なしもと たかこ）	アドバイザー：
---------------------	---------

共同研究者：大庭、松浦、本間、川崎、山田

電 話	03-3598-0130	メール	dayserv@ma.kitanet.ne.jp
FAX	03-3598-0187	URL	http://www.urara.or.jp/

今回発表の 事業所や サービスの 紹介	墨田川のほとりの東京都北区志茂に平成 13 年 4 月に開所致しました。特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス（大規模型通所介護：1 単位、認知症対応型通所介護：2 単位）の福祉サービスを提供させて戴いております。 “「特別」なことではなく、「普通」「あたりまえ」が大切。そしてそれを続けていくこと” がケアのモットーです。
------------------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

みずべの苑は、開設から 12 年が経過。毎年新人を採用して、介護職としての新人教育、人材育成に取り組んできました。しかし、これまでは施設で統一された新人の教育体制及び方法がなく、介護職の基本的素養となるケアスキルも各職員が独自で習得する状態でした。そして、新人からは「先輩職員によって指導に違いがある。」「こんなことは教わったことがない。」などの意見がありました。ケアスキルのばらつきは、介護事故の発生に関係することも予想されますので、介護事故予防の観点からもケアスキルを一定以上の質に改善することは、施設全体の課題となっています。

ケアスキルを改善するには、まず各自のケアスキルを客観的に評価することが必要ですが、評価スケールがないため、具体的な取り組みにまで至らない現状がありました。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

私たちは、7ステップケアプログラムと称した人材育成プログラムを開発しています。これは入居者・利用者に安心・満足されるケアサービスを提供できることを目的とした介護職の人材育成プログラムです。具体的には介護職員のケアスキル（知識と技術）の評価と向上により、介護事故が減少することを目指しています。そのプログラム構築に関する概要は昨年度日本介護福祉学会（京都、2012 年度）にて発表しました。

今回は、7ステップ人材育成プログラムを用いて育成した「新人介護職員の入社初年度におけるケアスキル能力の推移」、ならびに「新人介護職員のケアスキル向上に関する課題」について報告したいと思います。

《3. 具体的な取り組みの内容》

ケアスキル評価の対象者は平成24年4月に当法人に入社した8名（新人職員）で、うちわけは福祉系大学卒が4名、介護専門学校卒2名、その他2名です。

まず、3年以上の介護職経験を有する職員を1年かけて新人職員指導者（エルダー）として育成した後、新人教育指導者としました。研修内容は、7ステッププログラムの構成因子である「介護職の育成方法」、「7介護領域の統一されたケアスキル」ならびに「ケアスキル評価法」からなっています。本研究は、このように施設内の指導者育成研修を1年間うけた4名の職員（エルダー）がケアマニュアルを基に新人指導にあたった際の新人介護職員の平成24年4月から平成25年3月までの1年間のケアスキルの推移を報告するものです。ケアスキル評価は2ヶ月毎に評価シートを用いて行い、その後エルダーが面談・指導をしました。またエルダーには1ヶ月毎に新人職員の成長過程や課題の意見交換と育成焦点を学ぶ研修を行いました。

7つの基本介護領域は「食事」「排泄」「入浴」「移乗移動」「服薬管理」「感染予防」「認知症ケア」から構成しました。ケアスキル評価はこれら7つの領域について、それぞれ7項目の細項目からなる評価シートを用いて行い、それぞれ「〇〇ができる」と表記した細項目に対し、「強くそう思う：4点」「そう思う：3点」「そう思わない：2点」「全くそう思わない：1点」の4件法を用いて回答するものとなりました。1領域の最高点は28点、最低点は7点となります。新人指導は1年後に各領域が平均で21点になることをゴールとしました。

《4. 取り組みの結果と考察》

平成24年4月から指導・育成を始めてから12ヶ月経過時点の平成25年3月時点の、新人職員8名の7つの介護領域の平均得点は

食事：22点／排泄：22.75点
入浴：23.4点／移乗移動：22.75点
服薬管理：22.63点／感染予防：20.89点
認知症ケア：19.5点 でした。

このように認知症ケアと感染予防は、他の領域に比べ評価点が低いまま推移しました。認知症ケアに関しては、理論と実践を効果的に指導する方法が整っていないこと、また感染予防については知識を学んでも実践するケース、場面が少なかった為、新人職員の評価スコアが低いまま推移したものと思っています。

《5. まとめ、結論》

本研究結果は、我々が開発した7ステッププログラムは、初年度新人のケアスキルをほぼ均等に向上させることが可能であることを示唆しています。ただし、領域により到達程度には差があることも示され、今後の課題にしたいと思います。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究を報告するに先立ち、新人指導の対象となった8名の職員に対し、そのケアスキル得点を本研究大会にて報告する旨を説明し、承諾をとりました。

《7. 参考文献》

なし

《8. 提案と発信》

介護職員のケアスキル改善を通じた人材育成は現場の長い課題となっていました。私達は福祉施設における人材育成の一環として、7ステッププログラムを用いて人材を育成する有用性を実感しています。今後、さらに7ステッププログラムの標準化をすすめ、福祉現場における具体的利用法を検討したいと思います。

【メモ欄】